

## No.2085 インターナルボンドテスター

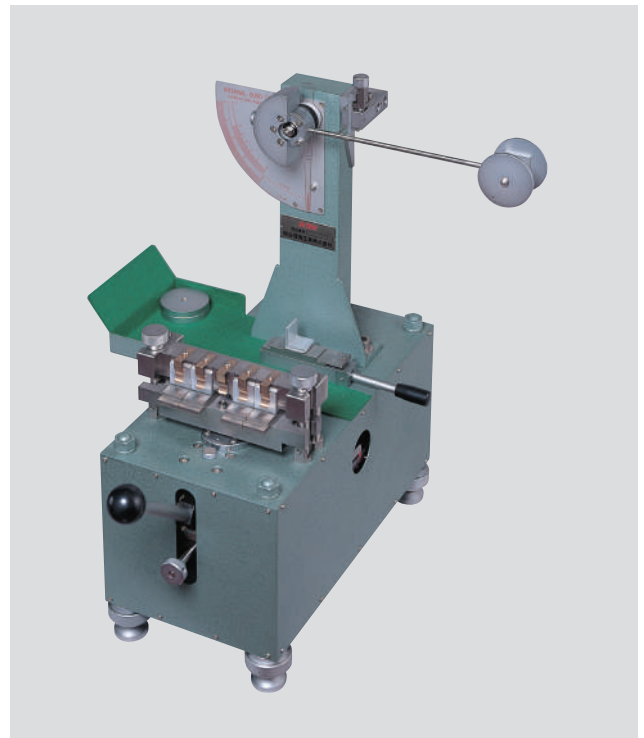
紙及び板紙は、印刷及び加工機械の高速化につれ、要求される品質も高度化しています。従来、Z 軸方向強度は J.TAPPI 及び TAPPI UM に規定されているように、引張又は破裂試験機を用い、静的強度を求めていましたが、実際の使用条件における用紙の挙動を把握することが困難となっています。本機は、塗工紙、クラフト紙、ラミネート紙等の結合強度、板紙の層間接着強度を測定する試験機として信頼性ある知見を提供します。その原理は、両面に 1 インチ巾のテープを張った試料を試料台の上に貼り、その上にアルミアングルを貼り付けます。その試料台をホルダーにセットし、水平位置よりハンマーを振り下し、そのアルミアングルに衝撃を加えます。試料の一部はアルミアングル共はく離されます。その時のハンマーの損失エネルギーをスケールにて読取ります。

試料	25×25mm 5 個
スケール容量	0.4N・m 0.8N・m 2 段目盛(負荷重錘交換)
プレス接着圧力	0 ~ 100kg (総圧力)
附属品	両面テープ巾 25mm
参考規格	J TAPPI NO.18-2,TAPPI UM-403,T569
外形寸法	520×430×534
重量	60kg

## No.2085-D インターナルボンドテスター(デジタル)

本機は No.2085 と同様、紙、板紙の層間強度を動的に評価するもので、特に高速オフセット印刷機での苛酷な条件での用紙の挙動を前もって把握するのに役立ちます。本機は振子の振り角度を自動的に読み取り、表示します。振子のスタート、振子回転摩擦の“0”調節、試料接着作業等はボタンスイッチにより簡単に作業できます。

測定範囲	0 ~ 0.4N・m 0.3 ~ 0.8N・m 振子負荷重錘交換
試料	25×25mm 5 個
接着圧	20 ~ 100 k g (総圧力) 空圧自動式
接着時間	1 ~ 99 秒 タイマによる自動昇降式
試料接着	エアースリンダーによる
表示切替	SI 単位と g 単位の切替可能
電源	100/110V 50/60Hz 1A
エア源	0.5MPa 以上
参考規格	J TAPPI NO.18-2,TAPPI UM403, T569,ISO16260-2016
外形寸法	360×650×550mm
重量	37kg



プレス装置